

指笛音楽 81 周年記念 田村大三門下生による

指笛音楽研究発表会

●●●●● 特別出演 ●●●●●

●●●●● ドラマティックソプラノ ●●●●●

田村 静海

●●●●● ピアノ ●●●●●

石塚 幸子

2015年9月19日(土)

開場 12:30 / 開演 13:00

練馬文化センター(小ホール)

主催：指笛楽友会

指笛音楽研究発表会プログラム

第1部

	出演者	演奏曲	作曲者
1.	植松 久美子 有賀 猛	カチューシャの唄 いつでも夢を(二重奏)	中山 晋平 吉田 正
2.	有賀 猛	さらば青春	小椋 佳
3.	中澤 忍	通りゃんせ 坊がつる讃歌	本居 長世(編曲) 竹山 仙史
4.	森田 重夫 (キーボード伴奏:スーサンチャヨノ)	Just a closer walk with thee ・・・他	黒人霊歌 作曲者不詳
5.	武井 洋子 (ギター伴奏:栗田勲夫)	切手のないおくりもの 知床旅情	財津 和夫 森繁 久彌
6.	坂田 泰行 (ピアノ伴奏:余越真理)	遠くへ行きたい } 琵琶湖周航の歌 }メドレー こゝに幸あり }	中村 八大 吉田 千秋 飯田 三郎
7.	栗田 勲夫	Summer～菊次郎の夏～ 過ぎ去りし永遠の日々	久石 譲 coba
8.	有吉 潤子 有吉 憲行	シューベルトの子守唄 ピクニック(二重奏)	シューベルト イギリス民謡
9.	齋藤 秀元	北上夜曲 埴生の宿	安藤 睦夫 ビショップ
10.	有吉 憲行	我が太陽 遠き山に日は落ちて	カプア ドヴォルザーク
11.	奥津 恭子 河津 菊枝	浜辺の歌 } おぼろ月夜 }二重奏	成田 為三 岡野 貞一
12.	片井 久夫	ヘッドライト・テールライト 風に吹かれて	中島 みゆき ボブ・ディラン
13.	倉木 成伊知	慕情 オール・オブ・ミー	サミー・フェイン ジェラルド・マークス セイモア・シモンズ (共作)

休憩

第2部

出演者	演奏曲	作曲者
1. ピアノ独奏 石塚 幸子	夢・荒城の月 月の沙漠	河野 春美 佐々木 すぐる・河野春美 編曲
2. 小林 信也 (ピアノ伴奏:余越真理)	ふるさと・おぼろ月夜・茶摘み 村祭り・もみじ・ふるさと	童謡・唱歌メドレー
3. 片山 陽一	旅情 雨に唄えば	アレッサンドロ・チコニーニ ナシオ・ハーブ・ブラウン
4. 藤好 清晴 藤好 真也	芭蕉布 四季の歌(二重奏)	普久原 恒勇 荒木 とよひさ
5. 奥津 恭子	メリー・ウィドウ・ワルツ	レハール
6. 藤好 真也	思い出の渚	加瀬 邦彦
7. 竹中 速雄	カチューシャ 翼をください	マトヴェイ・ブランテル 村井 邦彦
8. 中村 倫二	リンゴ追分	米山 正夫
9. 河津 菊枝	夢のあとに	フォーレ
10. 牛山 宏隆	四季より『春』 夢路より	ヴィヴァルディ フォスター
11. 塩谷 彰宏	赤い靴 コンドルは飛んでいく	本居 長世 ダニエル・アロミス・ロブレス
12. 杉田 隆則	川の流れのように My Way	見岳 章 ジャック・ルヴォー クロード・フランソワ (共作)

歌と指笛大合奏

田村 静海	歌劇『ミニヨン』より 君よ知るや南の国 歌劇『ジャンニ・スキッキ』より 私のお父さん	トマ プッチーニ
指笛大合奏	見上げてごらん夜の星を 上を向いて歩こう	いずみたく 中村 八大

ごあいさつ 指笛楽友会会長 齋藤 秀元

猛暑の夏から涼しい秋へと急激な天候の変わりようですが、お身体の調子は如何でしょうか。本日は、お忙しい中ご来場くださりまして誠にありがとうございます。

毎年この会場で皆様の温かい励ましをいただくことは無常の喜びであり、出演者一同深く感謝いたしております。確か10年ほど前、私たちの師故田村大三先生が、皆の前で「これで大丈夫だ、指笛音楽は続いて行く」と嬉しそうにおっしゃったことが思い出されます。

先生が必死に築かれた指笛音楽という金字塔を皆様と共に守り、日本の文化として発展させて行きたいと願っています。

指笛音楽81周年に寄せて 田村 静海

ほとんどの音楽は楽器を用いて習得します。指笛音楽は楽器を用いません。

(声楽もそれと同じですが、異なるのはもともと声を出すための声帯が備えられています。)

指笛は何も無いのですから自然の中で産まれてくる数々のものと同等に考えられ、これは唯事ではない産みの苦しみが掛けられ、自然の原則(法則)にめぐり合えて突然音が出た喜びの経験は他に類のないものと思います。この喜びを本日の発表に十分発揮出来るよう祈っています。

指笛に寄り添って思ふ事 石塚 幸子

第81回の発表会開催おめでとうございます。

何度か共演させていただく中で、指笛同士や他の楽器とのアンサンブル、今回は語りとのコラボレーションなど、楽友会の皆さんオリジナルの音楽が次々と生まれ進化してゆく姿を感じながら見えています。今回はピアノソロも弾かせていただきますが、《月の沙漠》の舞台`御宿`は、指笛メンバーの方達と昔遊びに行った地でもあり、思い出があります。客席とステージ、この会場にいる皆さんと心が通じるよう、私も一生懸命演奏致します!

指笛音楽に挑戦してみませんか

指笛で曲を演奏する人はどのくらいいるのですかと聴かれることがあります。

こうしたことについての調査をしていませんので、確かな返事ができません。

ただ、創始者田村大三先生が晩年の20年を過ごした練馬区(人口概略70万人)に限って推測すると、田村式の吹き方(人差し指を鍵型に曲げ、舌の上に乗せ口を閉じて吹く)で演奏できる人は、7~8人で、10万人に1人ということになります。ピアノやギターを弾く人とは比べようもありません。それ故挑戦してみる価値があるともいえます。

腹式呼吸をするし、ストレスを吹き飛ばすこともできて健康にもよさそうです。

ボランティア活動に役立ち拍手をいただいたりすることもあります。

楽器代がかかりません。歌が唄えて根気があれば仲間入りできることでしょう。

文責 齋藤 秀元

田村静海 歌の解説 堀内敬三解説より引用

君よ知るや南の国

ミニヨンの詠唱

ミニヨンは幼いときに拐かされて生みの親も知らずにジプシーの群の中で悲しい年月をすごしてきました。その身の上に同情してくれた学生ウィルヘルムの問いに答えて故郷のおぼろげな記憶をこの詠唱のうたに物語り、そこに帰りたいと言うあこがれを歌うのでした。

ジャンニ・スキッキ

おお！愛しいお父さま

ラウレッタの詠唱

十三世紀フィレンツェを舞台とするこのオペラは、スキッキの娘ラウレッタが恋仲のリヌッチョと婚約させてほしいと父に頼む場面で歌われます。

「み許し無ければ覚悟をきめてヴェッキョ橋の上から二人で身を投げてしまいます。ですからお父さまどうぞどうぞお許し下さい」とこいねがうラウレッタの歌です。